

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-------------|-----------|-------------|
| ○事業所名 | クロスロードコア | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和7年 2月 1日 | | 令和7年 2月 28日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 23 (回答者数) | 18 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和7年 2月 1日 | | 令和7年 2月 28日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 13 (回答者数) | |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年 2月 28日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|--|
| 1 | 多種多様な活動(調理活動、プール、就労支援見学) | 保護者さん、子供たちの意見を反映させたり将来の生活へ向けてを意識した活動を企画し今を楽しみながらも未来のイメージを徐々に形作って行けるような計画をしている。 | 室内で余暇の過ごし方を身につけられる。活動の割合が低くなってきているので考案する。保護者さん、子供たちのご意見を集めやすい仕組みを作る。 |
| 2 | 個々の事情、特性に合わせた臨機応変な対応 | 苦手な活動の参加度合、参加方法を子供本人と話したり、外出時のみ担当を決め別行動となっても連絡が取りやすいよう計らったり、事前に保護者さんと打ち合わせたりと、必要に応じ様々な形で対応している。 | 対応方法について職員間での共通理解をすすめ、どの職員でもどの子供に対しても一定の(同じ)支援対応ができるようにする。 |
| 3 | 幅広い年齢の子供が在籍しているため、子供同士での様々な関わりコミュニケーションができる | 子供同士での関わりに軋轢がうまれない様子を見て支援者が橋渡しとなる。気持ちがモヤモヤした部分の言語化を助けるだけ、お互いのやりとりでトラブルを解決できるよう配慮する。 | コア内で困っていつ事はないがリラックスして1対1で職員と話せる機会を定期的につくる。(送迎時、その他など) |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|--|---|
| 1 | 配置数としては問題ないが、外出活動時(平日、公園に行く際)職員不足を感じる(送迎等) | 平日も外出、運動遊びを望む声が多いが送迎や待機対応で外出できる職員が足りず安全面の理由から断念することが多くある | 小～高の児童が在籍しているため下校時間が多様であり、人員をわらずにはいられないので、室内で出来る運動遊びを充実させ外出活動の不足を補う |
| 2 | 子供が安心して1人で落ち着ける場所があるとよい。 PT,OT,STによる専門的な支援か医療ケアは存在しないので受け入れできる対象に限られる。 | 児童指導員以外の有資格者が少ない | 研修制度の充実や資格取得支援があるとよい 関係機関や他事業所との連携、アドバイスもらいできる限りの支援を行っていく。 |
| 3 | 地域支援、家族支援が少ない | 実際どのように企画、実行すればいいかわからない。 | モデルとなる支援やその様子を探し可能であれば教えてもらう。 |